# 田中優子氏 総長に就任

## 六大学初となる 女性総長誕生

増田寿男前総長の任期満了に伴い、本年度4月1日から新総長に前社会学部長の田中優子氏が就任した。六大学で初めての女性総長誕生ということで学内外から注目が集まっている。

田中氏は2012年に社会学部長に就任して以来、学部内だけでなく多摩キャンパス全体の問題にも目を向けてきた。学生のバス代の負担軽減や、都心へのアクセスの改善などといった課題をはじめ、多摩キャンパスを今後どう良くしていくかを話し合うようになったという。それがきっかけとなって総長選に推薦されたのが田中氏である。「総長選では問題を提起して議論することが目的だったので落選してもしょうがないと思っていました」。

### 法政の将来構想

今の法政大学に足りないものはしっかりとした将来構想であるという。「増田総長は6年間法政の基盤をしっかり作り、様々な向上に尽力されてきました。これからは未来に向けて明確な目標を設定する必要があります」。

近い将来18歳人口の減少とともに入学者も減り、現在の大学体制が崩れてしまう恐れがある。そうなれば大学の縮小や合併、最悪の場合、財力だから、皆さんが卒業してから困らないような力リキュラムを早めに作っていきたいです」。

グローバル化に向けてテージの段階的上昇を目指す。

「学校で常に留学生と会話ができるような環境を作りたいです。皆さんには卒業までに英語で基本的なコミュニケーション能力を身につけてほしいと思っています」。他にも留学から帰ってきた学生の語学面からのフォローや、それを踏まえた授業やゼミ選択を行えるようなカリキュラムを作っていくことにも意欲を示している。

しかし言葉の壁を超えることだけがグローバル化ということではない。「留学の目的が英語研修になっているのは非常にもったいない。語学留学でなく、経験をするための留学を増やしていきたいです。現地の人と生活をし、文化や宗教の違いなどを肌で感じてほしいですね。それぞれ異なる価値観を持った人を排除せず、相手を尊重し受け入れて話を聞くということもグローバル化の一つだと思うんです」。

### キャンパス再構築

昨今大学のキャンパスが都心回帰が進むなか、田中氏は多摩キャンパス移転の可能性を示唆する。やはり都心へのアクセスの問題が再構築検討を考える契機になったのだが、それは特に社会人にとって学びの場を提供することを意識してのことだという。「社会はどんどん変わっていきますから、新しい知識や技術を学びたいという社会人の方が会社帰りに立ち寄れるような大学が望ましい。そういう意味でアクセスしやすいリテライトなど構築はいずれ必要でしょう」。

### 市民のための大学

田中氏は「法政大学は〝市民のための大学〟であり、それが一番のセールスポイント」であると話す。市民の力とは、自分で情報を集めて考え、行動する力のことだという。これは自主法政祭や自主マスコミ講座といった名称などからも窺い知ることのできる法政の伝統的な〝自主〟精神である。「伝統的に法政の学生は市民としてちゃんとしよう、自分で考えようという意識があります。民主主義では自分で考えるということは不可欠ですから、それはこれからも大切にしていきたいです」。

しかし実際は、良いところが外部はもとより、内部にもあまり伝わっていない。法政をどう社会で認識してもらうかは広報の面で大きな課題になるだろう。

### 新入生へメッセージ

「新入生の方は社会や世界の情勢がどんどん変わっていくなかで法政大学に入学してきます。大学も私たち教員もこの世界の変動とともに変わっていかなければならない。私たちは皆さんに役立つことをちゃんと用意しています。ですから大学がどちらの方向を向いているのかということを理解して、自分もその方向に向きながら一緒に頑張ってほしいと思います」。

◆◆◆

安倍首相による政策、いわゆるアベノミクスの「成長戦略」に女性の重役への積極的登用が挙げられ、これからの女性の活躍がますます予想されている。そんな中の田中優子新総長の誕生に期待を抱く人は多いのではないだろうか。常に社会のアンテナを張り、学生の未来を見据えている田中氏。法政にどんな新しい風を吹き込んでくれるのか今後の動向にもぜひ注目していきたい。

（渡邉彩花）

「世界の変動とともに変わっていかなくてはならない」

新総長に就任した田中優子氏

法大生無料

後期・新歓合併号

発行所　〒102-8160東京都千代田区富士見２-17-１
法政大学　新聞学会

法政大学新聞
ご意見・ご感想等ありましたらお寄せください。
◆Email
mail@hoseipress.jp
◆Website
hoseipress.jp
◆Twitter
@hoseipress

紙面紹介

①田中優子氏総長に就任
②教授探訪　他
③一面広告
④味めぐり・オレンジカラー　他

ご入学
おめでとうございます

充実した4年間を
お過ごしください

法政大学新聞学会一同

## サークル紹介しちゃいます

SHINBUN GAKKAI NO SUBETE

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。苦しい受験生活もようやく幕を閉じ、楽しい大学生活があなたを待っています。

みなさんどのサークルに入るか頭を抱えていることでしょう。そこで是非おすすめしたいサークルがあります。それは我らが法政大学新聞学会です。

本サークルは1924年に創刊され、およそ90年という伝統あるサークルです。昔は本会にも行きましょう。合宿もあります。去年は2泊3日で京都旅行に行きました。人数が少ないからこそ、個人個人のスケジュールに合わせた日程を組みます。

そして次が最大のメリット。好きな著名人に取材できる！　かも？

先ほど言った通り、私たちは少人数サークルです。そのため個人の要望にとても寛大に対応しています。例えば、4年生のS先輩は無類のヒップホップ好きで、法政大学と何の関係があるのだろうかと疑問に思うようなヒップホップの記事を毎号書いていました。もちろん、大好きなヒップホップアーティストに取材にも行っていました。

有名人だけでなく企業人など、自分の好奇心の赴くままに取材をし、自分の糧となる話を聞くことができます。こんな体験ができるのも法政大学新聞学会ならではなのです。

そして、最後のメリット。就職活動に強い。本サークルは、記事の作成から校正、そしてDTP作業という紙面の割り付けまで全て自分たちで行います。DTPの際に専用ソフトを使うのですが、そのソフトを使いこなせるようになると、もう完璧です。出版関係の企業へのアピールはばっちりです。自主マスさんに入りたいけど、そこまでガツガツできる自信が……という方は是非本サークルに入部してみてはいかがですか？

もちろんデメリットもあります。

まず新聞発行までの2週間は、本当に大変ということです。私たちは人数が少ないからというのもありますが、一つの理由ですが、私長々と紹介してしまいましたが、一言で言うと〝新入生がほしい〟ということです。誰かしら部室にいますので、気軽に立ち寄ってみてください。場所は藤見坂校舎2FのF209となっております。

お菓子を常備して待っています。

（平野　奈々）

去年の京都夏合宿の様子

## News Flash

### 稲増教授の新著

稲増龍夫社会学部教授が3月7日、自信が創設した自主マスコミ講座の活動をまとめた『就活は最強の教育プログラムである』（中央公論新社）を発行した。

### 法政二中高　新校舎完成

法政大学第二中・高の新時計塔校舎の竣工式が行われた。今回の第一期工事では、電子黒板機能付きプロジェクタなどの設置を整えたほか、2年後に予定されている男女共学化に向けての整備も行われた。引き続き工事は行われ、4月からの第2期工事では講堂、図書館、食堂などの校舎部分の建設が中心となる。

## オレンヂカラー

始まりの季節の春がやってくる。始まりという単語を聞けば、入学がまず思い浮かぶ。新しい環境で友達が出来るのだろうか、ここで自分らしくやっていけるだろうか、という不安が常に付きまとう。▼これは、私ではなく誰だって経験することだろう。しかし時が経てば、この感情はいつの間にか消え、楽しく笑いながら過ごしている自分がいるはずだ。▼私が法政大学へ入学した日、周りには知り合いが一人もいなくて、緊張でいっぱいだった。高校生のときのように友達はたくさん出来るのか、笑って楽しい学校生活を送ることは出来るのか思い悩んだまま参加した入学式だったが、徐々に友達が増えて、心配は消えていった。サークルにも参加し、多くの友達をつくることが出来た。▼大学という新しい環境で、経験したことない出来事もたくさん発生する。私自身何度も、一人では越えられない出来事と立ち向かってきた。自信が無くて踏み出せない時だってあった。しかし、その度に友達が助けてくれ、支えてくれた。▼新入生の皆さんもこの時期は、大きな不安を抱えていると思う。しかし、自分らしさを見失わないでほしい。その不安や緊張が背中を押し、かけがえのないものを与えてくれる。また、これから経験することと、出会う人ひとりひとりを大切にすれば、それらは自分自身の助けになり励みになっていくだろう。▼時の流れは速く、気付いたら私はこの春から大学三年生になる。遅いかもしれないが、就職という新しい環境への準備を始めなくてはいけない。残された時間を無駄にせず、自分らしいしっかりとした新しい一歩を踏み出そう。さあ、今年も春がやってきた。

（松岡　彩香）

定期購読者募集中
法政大学新聞では
定期購読者を募集しております
自宅に居ながら
法政大学新聞が読める
便利な定期購読をご利用下さい
購読料
年間 1000円

定期購読者を募集してます！
法政大学新聞は定期購読者を募集しております
法政大学の〝今〟をお手軽に
あなたのご自宅でもいかがですか？
年間購読料：1000円

詳しくは hoseipress@hotmail.com までお問い合わせください

広告募集中
法政大学新聞では学内団体はもちろん、企業からの広告も募集しています。
法大生３万人のメディアを使ってみませんか？